

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～24℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マイワシが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり8kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり152kgの水揚げで、前週の2.9倍（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり85kgの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり807kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり18kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり198kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり189kgの水揚げ。対馬東岸地区ではヒラマサなどが1日1統当たり167kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり257kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり9kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/10～6/15の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、太平洋公海域のアカイカ（ムラサキイカ）漁に出漁中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖、山口沖、山陰沖、能登半島沖、佐渡沖で操業。

沖合イカ釣（鳥取県西部・沖合船）は、入港船延11隻がスルメイカ380箱、ケンサキイカ25箱、合計405箱を、1航海最高114箱、平均36.8箱の水揚げ。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

海況通信「第8-9号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>